



防災アドバイザーと意見交換

むつみ行政区で防災・防犯に関する意見交換会

3月22日、むつみ行政区のむつみ会館で、牛久市防災アドバイザーを務める山村武彦氏(防災システム研究所所長)を招き、行政区が抱える防災・防犯に関する意見交換会が開催されました。会場には地元のむつみ行政区や隣接する行政区などから約70人の住民が参加し、日頃から疑問に思っている防災・防犯に対する点などについて質問が

の電話の使用について」や「防災倉庫の中の食糧品の切り替え」など質問がされると、山村氏は、今後の防災・防犯対策に直接役立つアドバイスをしました。講演では、「災害発生時に備え、まずは『生き残る』訓練が必要。日頃からその訓練をしていないと生き残れない。自分の命は自分で守ることが大事」と、日頃からの備えの重要性を訴えました。



1



2

1 熱心に耳を傾ける住民の皆さん
2 牛久市防災アドバイザーの山村武彦氏

おめでとう 大会結果

●2014スポーツチャンピオンフェスティバルバドミントン

3月8日開催
合計32ペア参加

優勝チーム

クラス	優勝者 所属
男子混合	浅野・本多 シャトルズA・B
女子ABC	飯島・ ^{うきた} 浮田 RADISH
女子D	小島・ ^{ただかわ} 只川 B's
小学生高学年	竹内・武藤 アミーゴ
小学生低学年	竹内・ ^{ごう} 郷 アミーゴ

寄付・寄贈

温かい善意ありがとうございます

●愛のタオルを贈る運動

茨城県退職公務員連盟牛久・荃崎支部から牛久市社会福祉協議会へ、市内小中学校の協力により集めた1,300本を超すタオルを寄贈していただきました。



●新1年生へ防犯ブザー寄贈

常陽銀行牛久支店から、市内小学校の新1年生のために、防犯ブザー830個を寄贈していただきました。



毎年、市内小学校の新1年生を対象に、登下校時の防犯に役立てるために贈っているもので、今年11回目になります。

●作家によるチャリティー

タカシサイトウギャラリーから牛久市社会福祉協議会へ5万5,480円を寄付していただきました。この寄付は、1月にタカシサイトウギャラリーで開催された



作家55人による「チャリティー小品展2015」の収益金です。

チャリティーを主催した齋藤さんは、「作家たちのまちのためにという思いを集めて企画しました」と話しました。

●ふるさと牛久応援寄附

市内在住の渡辺コマさんから市へ「ふるさと牛久応援寄附」として、30万円を寄付していただきました。



渡辺さんは「牛久に住んで30年たちました。目は見えなくなりましたが、近所の方や病院の先生など、たくさんの方に支えられて幸せです。この寄付が私のような障がいのある方などのお役に立ててもらえるなら嬉しいです」と話しました。

牛久自然観察の森から 生中継！

4月1日、NHK水戸放送局による「みんなで！いばらナイト」を牛久自然観察の森から中継しました。放送当日が偶然にも開園25周年の記念日と重なり、スタッフの皆さんは「100年後も変わらずにこの森を残していきたい」と話してくれました。



下草刈りや枝打ちなどを行っているボランティアのみなさんや、間伐材を利用して木のおもちゃを手作りしている皆さんなど、ふるさとの森を大切に思う人たちが出演しました。

広がる支援の輪

被災地バヌアツへ おくりもの

本年3月、南太平洋にあるバヌアツ共和国がサイクロンで大きな被害を受けました。4月10日、バヌアツ親善大使である相川梨絵さん(牛久市出身)に、バヌアツ共和国のマンガリリュ村の小学校と2年前から交流をしていた牛久第二小学校の児童から手紙と、PTAからは義援金が贈られました。牛久市役所でも募金が行われました(右写真)。



児童からの手紙を、「ありがとうございます」と笑顔で受け取る相川さん。

循環型社会への取り組みを進めています

3月26日、NPOエコライフ(川谷睦子代表)が池辺市長から感謝状を贈呈されました。この感謝状は、市が循環型社会を学ぶ教育の一環として行っている「学校給食ゼロエミッション」で、平成14年から市内全8小学校で子どもたちに実践指導を行っていることに対し、贈られました。



「ゼロエミッション」とは、食べ残した給食を廃棄せず、自校内で処理することをいいます。食べ残した給食は、NPOエコライフの実践指導の下、市内全8小学校の4～6年生(奥野小学校は3～6年生)がたい肥化し、学校で作物を育てたり花壇などに使用しています。



1 今年2月に中根小で行われた「学校給食ゼロエミッション」 2 川谷さんは「学校給食ゼロエミッションを通じて、何かを乗り越える力が身に付いたと感じる子や、循環型社会の大切さが分かったと話す子もいて、嬉しいですね」と話していました。

春一番のおもてなし 女化春祭り

女化の春がやってきた！

3月24日から29日までの6日間、女化文化芸術活動推進協議会主催による、女化春祭り・「吊るし飾りとお細工物展」が女化青年研修所で開催されました。

大正琴の演奏会や食品の販売も行われ、春の香りいっぱいの惣菜や、地場産野菜も飛ぶように売れました。会場内は春色に染まり、女化の春満開の温かい雰囲気にも包まれました。



花工房主宰の上村紀代子先生が構成し、本協議会の受講生の作品も展示され、会場はひな祭り一色に染められました。

神谷大師講

みんなで楽しく交流

3月19日、神谷公会堂で神谷大師講(沼本喜代子会長)が開かれ、約30人の方々が集まりました。向台行政区から参加した80代の女性は「みんな優しいから、行政区の壁を越えて参加している。年に1回は旅行にも参加し楽しんでいる」と話し、同年代の方々との再会を喜びました。



神谷大師講では、日々地域の大師様を守るとともに、春と秋の2回、料理を作って持ち寄ったり、歌や踊りを楽しんだりして、お互いの無事を確かめ合うのが恒例となっています。

牛久小小学で自校炊飯始まる

毎日炊きたてご飯をいただきます！



1



2

1 炊き立てのご飯に
喜ぶ児童

2 給食を楽しむ
児童と池辺市長

4月から牛久小小学で自校炊飯が始まりました。

4月15日、池辺市長、野口副市長、染谷教育長が児童と一緒に、炊きたてのご飯を教室で食べました。

主食のご飯は牛久産「コシヒカリ」100%で、給食室で一釜ずつ炊飯し、教室で炊き立てを食べられます。市ではこれまでも給食に地場産物を積極的に納入し、地産地消を進めてきました。

6年1組の星光翼さんは「学校で炊いたご飯は、あったかくておいしい」と話していました。

自校炊飯は、牛久小小学が市内で5番目。順次市内の他の小中学校でも実施する予定です。普段の給食はもちろん、災害時に避難所となる小中学校で、避難者に温かいご飯の提供が可能になります。



1144号

2015 5月1日号
平成27年5月1日発行

発行・編集 牛久市民活動課
〒300-1292
茨城県牛久市中央3丁目15番地1

TEL 029-873-2111
FAX 029-873-2401
HP <http://www.city.ushiku.lg.jp/>

今月の たいへんよくできました 上町ふれあい保育園のお友だち



ぞうぐみ

上町ふれあい保育園のお友だちは、思い思いに描いた「牛久小小学の桜の木」を披露してくれました。また、壁には「うしく・鯉まつり」で展示する鯉のぼりを飾ってくれました。

上町ふれあい保育園は、牛久小小学内に、この4月から開園し、子どもたちは3月に閉園した上町保育園から引っ越してきました。

新しい保育園は小学生もいるにぎやかな環境。元気いっぱいにご遊ばしてね。



牛久小小学の余裕教室を改修して開園。保育園専用の門や園庭もあり、子どもたちが、のびのび遊んでいます。



私たちはスローフードを応援しています。

AMICI DI Slow Food®

牛久市はスローフードを応援しています。



再生紙、環境に優しい植物油インキを使用しています。